

編集後記

●編集委員 (50 音順)

池田 徳彦 大須賀 穰 小澤 壯治 北川 雄光 北野 正剛
近藤 幸尋 坂井 義治 森 俊 幸 山 本 学

本号より北島政樹主幹に代わり編集を担当することとなった。思い返すと、1996年に投稿論文のみでは不足する事態を想定して特集を組む形で発刊した本誌もすでに15巻となった。本誌の表紙カラーデザインは第一期の編集委員であった故大上正裕先生によるもので、これを編集委員会で決定した時のことは、今でも鮮明に記憶に残っている。

これまでに特集として依頼した論文が485編、一般投稿論文が558編を数える。2000年第4巻で1年間の投稿論文数が依頼論文数を越えた。昨年2009年には依頼論文4編に対し、投稿が90編と大きく入れ替わり、第1巻からの投稿論文総数が依頼論文総数を大幅に上回った。これも出月康夫主幹(1996~2003)、北島政樹主幹(2004~2009)の卓越した指導力によるものと心から御礼申しあげたい。また、今回、任期を終えた編集委員の皆様には、多くの投稿論文の評価や査読を通して本誌発展のために尽くされたご努力に対し敬意を表したい。

今回は、3期目の編集委員就任となる。従来より継続性のため2名を除いて全員が交代した。上段に記載されている通り小生と小澤委員以外は今回からの新編集委員である。各科横断的学会機関誌ということで、婦人科領域担当の大須賀委員、泌尿器科領域担当の近藤委員、呼吸器外科領域担当の池田委員のほか、一般・消化器外科担当として、坂井、山本、森、北川委員の4名が加わって編集を担当することになる。新たな取り組みとして2008年から発刊され順調に投稿数が伸びている本会英文機関誌 Asian Journal of Endoscopic Surgery との連携や Surgical Endoscopy における興味深い論文紹介などを進め国際化と同時に、これまで以上に会員の皆様がこぞって投稿したくなるような工夫と論文のさらなる質の向上に努めてゆきたいと考えています。

ご支援ご協力をお願いします。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第15巻 第2号) 2010年4月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価2,940円(本体2,800円+税5%)となります。

2010年 年々め予約購読料: 17,160円(税込)(配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会(代表: 北野正剛)

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F 一般社団法人学会支援機構内

☎03-5981-6011 (Fax 03-5981-6012/E-mail: jses@asas.or.jp) (担当: 佐々木, 小山)

<http://www.asas.or.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 4F, 5-3-13 Otsuka Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0012, Japan

©2010, Printed in Japan

発売: 株式会社医学書院(代表: 金原 優)(本誌担当: 田村, 土田, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

小腸病変に対する腹腔鏡補助下手術と術前ダブルバルーン

小腸内視鏡検査の有用性 野田英児・他 大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科

●症例報告

腹腔鏡下に切除した後腹膜平滑筋腫の 1 例 木内 誠・他 東北大学大学院生体調節外科学分野

腹腔鏡下に切除した大網由来 Castleman's disease の 1 例 弓場孝郁・他 第一東和会病院外科

脾嚢胞性腫瘍に対して短胃動静脈温存による腹腔鏡下脾温存

脾体尾部切除術を施行した 1 例 蔵原 弘・他 鹿児島大学大学院腫瘍制御学消化器外科

腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術後に温存した左結腸動脈により腸閉塞をきたした 1 例

..... 佃 和憲・他 総合病院岡山赤十字病院外科

胸腔鏡下生検で診断した縦隔に広範囲に進展する血管腫の 1 例 片岡和彦・他 広島市立広島市民病院外科

腹腔鏡下手術が有用であった小児外傷性小腸穿孔の 1 例 藤本明久・他 高槻赤十字病院外科

傍下行結腸窩ヘルニアによるイレウスに対し腹腔鏡下手術が有用であった 1 例 新名一郎・他 串間市民病院外科

●手術手技

腹腔鏡下胃手術における簡便で安全な肝挙上法 渡部雅人・他 北九州市立医療センター外科

他に症例報告数編。ただし頁の都合により変更があります。ご諒承下さい。